

老いも若きも大志を抱き 生きていくことが大切です

よしだ・こうしん 1946年生まれ、福岡県出身。旧満州国新京（現在の長春市）で出生。立正大学仏教学部卒業後、同大学大学院修士課程に進学。1972年、文学研究科仏教学専攻修了。1980年より全性寺住職に。2001年からは日蓮宗常任布教師も務めている。
全性寺／石川県金沢市東山2-18-10 ホームページは「あかもんでは」で検索を。

仏の境地は私たちにわかりません。わからないことはなかなか求めにくいものです。でも、それを求めようというのが仏教。求めたらその日から、仏になったのと同じだけの功德をいただけるという教えもあります。

また、仏教には「五戒」があります。「殺すな」「盗むな」「淫らなことをするな」「嘘をつくな」「酒を飲むな」という5つの戒めです。子どもに嘘をついていいとは教えませんよね。嘘をついてはいけないのは当たり前。でも、当たり前が当たり前でできないのが私たち凡人です。当たり前が当たり前でできる人、それが仏様です。

母が信仰していたお寺の庵主さんから、12歳のときに「弟子にこないか」という話をいただきました。私は言われるがままにそのお寺の弟子となり、仏教を学ぶために立正大学、大学院へと進学。卒業後は京都の友人の元でお世話に

なつた後、ここ全性寺にご縁ができて、1980年に住職となりました。

仏になるうと
覚悟を持てば
すべてが変わる

仏教では「発心」（仏になるうと覚悟すること）と「懺悔」（罪を悔いて改めること）があつて信仰が成り立ちます。大志を抱くということは、仏になるうという願いを持つて生きていくということ。仏になろうと本気で思うと、「こんなことで怒つていられない」「こんなつまらないことに関わつていられない」という思いが出てきます。仏になろうとがんばつていくのに、些細なことで阻止されたのではたまらないからです。

ですから、老いも若きも大志を抱きましょう。そうすれば自分の考え方や日々の生活、人間関係が必ず変わってくるはずですよ。

仏の境地は私たちにわかりません。わからないことはなかなか求めにくいものです。でも、それを求めようというのが仏教。求めたらその日から、仏になったのと同じだけの功德をいただけるという教えもあります。

また、仏教には「五戒」があります。「殺すな」「盗むな」「淫らなことをするな」「嘘をつくな」「酒を飲むな」という5つの戒めです。子どもに嘘をついていいとは教えませんよね。嘘をついてはいけないのは当たり前。でも、当たり前が当たり前でできないのが私たち凡人です。当たり前が当たり前でできる人、それが仏様です。

当たり前前でも
できていることは多いこと

夫婦がそれぞれの役目を果たし、家庭を守り子育てをする……これは当たり前前のことですが、これがちゃんとできていることは、実はとても多いこと。人間は、自分ではできていなくても相手には当たり前前を求めがちです。でも、「当然だろう」というひと言で片づけるのではなく、当たり前前のことでもそれができていることは「ありがたいことだな」という視点を持つことが大切です。

普段のちよつとしたことにもそうした眼差しを持つことができるようになれば、家庭の中の空気はより良いほうに変わるでしょう。

Heart Beauty Salon

サトリの ココロ

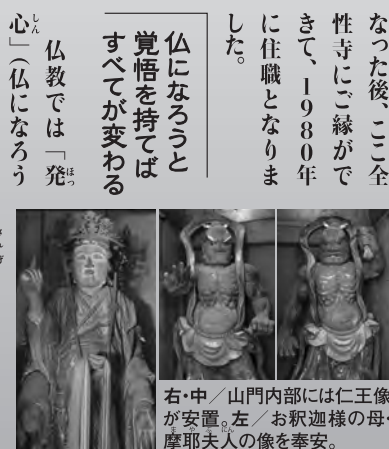
多くの人が孤立感、生きにくさを感じる今、
仏教に興味を持つ人が増えています。
僧侶に聞く、弱い自分と向き合う方法――

日蓮宗全性寺住職
吉田弘信さん

第75回

私は終戦後、満州の新京（現在の長春市）で出生。生後6か月で日本に帰つてきて、福岡県の筑豊で育ちました。筑豊は炭坑の町。戦後すぐでしたが、町には活気がありました。両親は食料や雑貨を扱う小さな店を自営。母が日蓮宗の熱心な信者でした。

母が信仰していたお寺の庵主さんから、12歳のときに「弟子にこないか」という話をいただきました。私は言われるがままにそのお寺の弟子となり、仏教を学ぶために立正大学、大学院へと進学。卒業後は京都の友人の元でお世話に



右・中／山門内部には仁王像が安置。左／お釈迦様の母・摩耶夫人の像を奉安。



1522年創建の全性寺。紅殻塗りの山門から「赤門寺」と呼ばれ親しまれている。